



自身像
日本民藝館(東京都目黒区)



馬頭観音菩薩
個人(山梨県身延町)



地藏菩薩
日本民藝館(東京都目黒区)

故郷に
還る、
微笑み。



自身像
隆源寺(京都府南丹市)



薬師如来
個人(新潟県柏崎市)



子安観音菩薩
徳蔵寺(愛知県新城市)



桔本人窟
日本民藝館(東京都目黒区)

木喰展

木喰

M O K U J I K I

2018.

7/14(土) ~ 10/21(日)

身延町なかとみ現代工芸美術館

主催:身延町・身延町教育委員会・身延町なかとみ現代工芸美術館

共催:山梨日日新聞社・山梨放送

企画協力:山梨県立博物館・(株)アートワン

後援:山梨県・(公社)やまなし観光推進機構・テレビ山梨・エフエム富士・エフエム甲府・

朝日新聞甲府総局・読売新聞甲府支局・産経新聞甲府支局・毎日新聞甲府支局・日本ネットワークサービス

since 1718

年



芸術文化振興基金助成事業



生誕

木喰展

2018.7/14(土)~10/21(日)

●苦難の旅の末に、辿り着いた“微笑”の境地。

木喰は享保3年(1718)、甲斐国東河内領古閑村丸畑(山梨県身延町)という山村で、伊藤六兵衛の次男として生まれました。14歳で故郷を出奔した木喰は、22歳で出家した後、45歳で常陸国の木食観海の弟子となり、木食戒を受けます。

56歳で日本廻国の旅に出立した木喰、旅先で相次ぐ天災や疫病、飢えに苦しむ人々を救うため、61歳より仏像を彫り始めます。80歳で一十体、90歳で二千体の造像を誓願し、文化7年(1810)に93年の生涯を閉じるまで各地に多くの像を遺しました。その像は全体的に丸みがあり、独特の微笑みをたたえ、晩年の作は満面の笑みを浮かべます。年齢を重ねるにしたがって輝きと人間味をあふれさせていくその作風は、木喰自身の生き様と相まって今なお多くの人々を魅了してやみません。

●「まるまると まるめまるめよ わが心 まん丸丸く 丸くまん丸」

木喰は旅の途中、600首を越える和歌を詠んでいます。この歌は小泉元総理が官邸メールマガジンで引用し、折に触れて思い返しては冷静な対応を心がけていると紹介したことで有名になりました。この他に「わが心 にごせばにごる すめばすむ すむもにごるも 心なりけり」という歌もあり、現代人がとかく忘れがちなこころの尊さをしみじみと感じさせます。

●いつの世も庶民のとなりで微笑む仏たち。そして今、故郷の地へ。

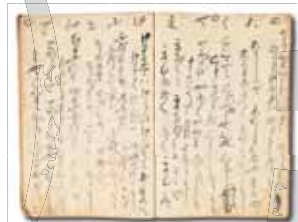
寛政12年(1800)83歳のとき、日本廻国の大願を果たして故郷丸畑へ戻った木喰は、村人に請われて四国八十八霊場の本尊を一堂に安置するため、四国堂仏の造像にとりかかります。生涯最大の群像彫刻を助けるため、はじめは村人も協力しましたが、種々の理由で次々と離れていき、最後には13人になりました。現在、丸畑の2軒の家に安置されている像は、木喰に最後まで協力した礼に分け与えられたと伝わります。大正時代、四国堂仏は諸事情により丸畑より流出しましたが、そのうちの地藏菩薩が民藝運動家・柳宗悦の目にとり、木喰仏が世に出る契機となりました。

今年の木喰生誕300年の記念すべき年です。本展では各地の木喰仏はじめ初出し含む書画資料およそ100点から、木喰の生涯を紹介します。木喰の微笑みが、時空を越えて故郷に戻ってきます。木喰のように宗派を越えて庶民の信仰に深い影響を与えた人物はめったにいません。その遺徳はこれからの多くの世代にも受け継がれることでしょう。「夢の世を 夢でくらすな 夢さめて 植えおく種は 後の世のため」本展が、木喰の植えおいた心の種にふれる、そんな契機になることを祈ります。

故郷に還る、微笑み。



薬師如来図
微笑館【山梨県身延町】



青表紙歌集
微笑館【山梨県身延町】



三十三所観音菩薩のうち
如意輪観音菩薩
寶生寺【新潟県長岡市】

MOKUJIKI
生涯300年
since 1718

身延町なかとみ現代工芸美術館

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345
Tel.0556-20-4555

<https://www.town.minobu.lg.jp/washi/>

開館時間：9:30~17:00(入館は30分前まで)
休館日：毎週火曜日(祝日の場合、その翌日)
観覧料：一般：700円(600円)/大高生：500円(400円)
小中生：200円(100円)
※()内は20名以上の団体料金

関連イベント

記念講演会 1 8/25(土) 13:30~15:00

「故郷山梨の木喰仏」

【講師】近藤暁子(山梨県立博物館学芸員)

- 申込不要、参加無料
- 会場：身延町なかとみ現代工芸美術館 ロビー

記念講演会 2 9/8(土) 13:30~15:00

「柳宗悦が発見した木喰」

【講師】森谷美保(美術史家、実践女子大学・國學院大学非常勤講師)

- 申込不要、参加無料
- 会場：身延町なかとみ現代工芸美術館 ロビー

記念講演会 3 9/23(日祝) 13:30~15:00

「木喰の生涯と作品」

【講師】小島梯次(全国木喰研究会評議員・本展監修者)

- 申込不要、参加無料
- 会場：身延町なかとみ現代工芸美術館 ロビー

木喰展記念
トークショー
要事前
申込
参加無料

7/28(土)

13:30~14:10

ゲスト 篠原ともえさん

会場：身延町なかとみ現代工芸美術館 ロビー

タレント・アーティストとして幅広い領域で活躍している篠原ともえさん。仏像巡りが趣味である篠原さんに、今夏放送の木喰特別番組(YBSテレビ)のロケ地・身延町で、自身の視点から木喰の魅力を存分に語っていただきます。



定員100名 申込期間
6/1(金)~6/22(金)

メール・はがき・FAXにて受付。詳しくはHPで→
※応募多数の場合、抽選となります。



山梨放送ホームページ

生誕地 丸畑散策会

9/22(土)、29(土) 10:00~16:00

- 要申込(申込受付6/1(金)開始) 参加無料
- 定員各回30名
- 道の駅しもべ 第2駐車場(身延町古閑4321)

主催：身延町・身延町教育委員会・身延町なかとみ現代工芸美術館

共催：山梨日日新聞社・山梨放送

企画協力：山梨県立博物館・(株)アートワン

後援：山梨県(公社)やまなし観光推進機構・テレビ山梨・エフエム富士・エフエム甲府・朝日新聞甲府総局・読売新聞甲府支局・産経新聞甲府支局・毎日新聞甲府支局・日本ネットワークサービス



木喰展特設ページ

お問い合わせ 身延町教育委員会 生涯学習課
文化財担当 Tel.0556-20-3017